

みずほCustomer Desk Report 2023/06/01 号 (As of 2023/05/31)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	139.75
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	139.78	1.0733	149.96	1.2412	0.6518
SYD-NY High	140.42	1.0736	150.07	1.2443	0.6538
SYD-NY Low	139.24	1.0635	148.62	1.2350	0.6459
NY 5:00 PM	139.34	1.0689	148.96	1.2444	0.6504
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,908.27	▲ 134.51	日本2年債	▲0.0600%	0.0000%
NASDAQ	12,935.29	▲ 82.14	日本10年債	0.4300%	0.0000%
S&P	4,179.83	▲ 25.69	米国2年債	4.4069%	▲0.0515%
日経平均	30,887.88	▲ 440.28	米国5年債	3.7573%	▲0.0556%
TOPIX	2,130.63	▲ 28.59	米国10年債	3.6455%	▲0.0478%
シカゴ日経先物	30,790.00	▲ 365.00	独10年債	2.2715%	▲0.0875%
ロンドンFT	7,446.14	▲ 75.93	英10年債	4.1750%	▲0.0665%
DAX	15,664.02	▲ 244.89	豪10年債	3.6300%	▲0.0530%
ハンセン指数	18,234.27	▲ 361.51	USDJPY 1M Vol	10.82%	▲0.12%
上海総合	3,204.56	▲ 19.65	USDJPY 3M Vol	10.57%	0.05%
NY金	1,982.10	5.00	USDJPY 6M Vol	10.55%	0.04%
WTI	68.09	▲ 1.37	USDJPY 1M 25RR	▲1.53%	Yen Call Over
CRB指数	253.85	▲ 1.65	EURJPY 3M Vol	9.89%	0.05%
ドルインデックス	104.33	0.16	EURJPY 6M Vol	10.16%	▲0.02%

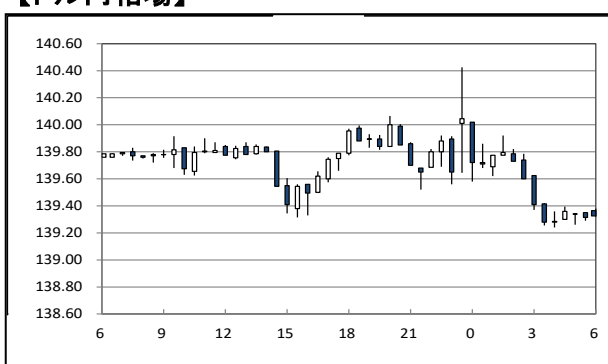
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月31日	10:30	中 製造業PMI	5月 48.8	49.5
	10:30	中 非製造業PMI	5月 54.5	55.2
	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	5月 -0.1%/5.1%	0.3%/5.5%
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	5月 -0.1%/6.1%	0.2%/6.5%
	23:00	米 JOLT求人	4月 10,103K	9,400K
6月1日	01:30	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁	「次回会合での利上げを見送ることが可能」	

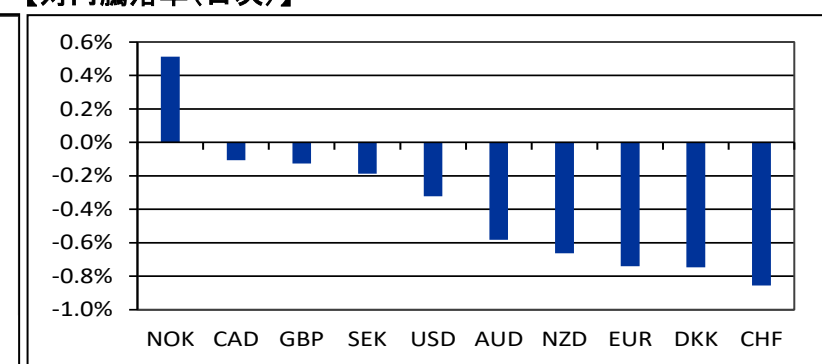
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月1日	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	5月 49.5	49.5
	18:00	欧 失業率	4月 6.5%	6.5%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	5月 0.2%/6.3%	0.6%/7.0%
	18:00	欧 コアCPI・速報	5月 5.5%	5.6%
	21:15	米 ADP雇用統計	5月 170K	296K
	21:30	米 新規失業保険申請件数	27-May 235K	229K
	23:00	米 建設支出(前月比)	4月 0.2%	0.3%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	5月 47.0	47.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.40-139.80	1.0600-1.0730	148.00-149.20

【マーケット・インプレッション】

東京時間は序盤からややリスクオフムードの中、月末実需のフローで売り買いが交錯し139円台後半を推移。NY時間に入り発表されたJOLT求人件数の良好な結果を受け140.42まで上昇したものの、高値圏を維持できず反落。その後、複数のFRB高官から6月会合での利上げ見送りを示唆する発言や、ページブックにてインフレの低下が示されると、米金利低下とともにドル円は下落。139.24をつけ139.34付近でクローズ。

6月FOMC(13,14日開催)において利上げの一時停止が示唆されたことで6割強織り込まれていた25bp利上げは3割程度まで縮小。それに伴い米金利は軟調に推移しており、本日のドル円は昨日の流れを引き継いで上値重い推移を予想。加えて、本日から明日にかけてISMや雇用関連指標の発表を控え警戒感が強まり易い中、積極的にドルを買い進め難い状況。一方で本邦でも3者会合や口先介入がなされたばかりで、ドル円は3月から右肩上がりに上昇を続けてきたことを踏まえれば調整局面はまだ続くものと考え。

東京	東京時間のドル円は139.78レベルでオープン。月末日に伴う実需のフロー等もあってか139円台後半でしばらくはもみ合うも、中国5月PMIが市場予想を下回る結果を受け景気減速感が高まったためかリスクオフの円買いが進んだ。ドル円は139.32まで下落し、結局139.55レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、139.55レベルでオープン。朝方ユーロが弱含むとドル買い優勢となり、ドル円も140.06まで上昇。しかし勢いは続かず139.68レベルでNYに渡った。朝方に発表された仏5月CPIが予想を下回ったことでECBの利上げへの懸念が出た模様。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は139円台後半でスタート。アジア時間では中国5月製造業PMIと非製造業PMIが予想を下回り、中国の経済回復が予想より遅れている事が嫌気され、リスクオフの円買いが先行し、139円台前半まで下落する。その後一時140円台を回復するも、長続きせず139.68レベルでNYオープン。朝方に発表された米4月JOLT求人件数が予想を大幅に上回り、米労働市場が依然緊迫しているとの見方から、ドル買いで反応し140.42まで上昇する。しかし、引き続き米債務上限問題を巡り、議会採決の行方の不透明さが懸念され、再びリスク回避の円買いに転じ、139円台後半まで値を下げる。午後は複数のFRB高官の「次回の会合で利上げをスキップできる」、「利上げ停止は金利ピーク意味せず」等の発言や、その後発表された米地区連銀経済報告では「物価上昇は多くの地区でペースが減速した」との内容が次回会合での利上げ期待を後退させ、139.24まで売られる。終盤は下げ渋り、139.30付近を挟んだ推移が続き、139.34レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台半ばでスタート。仏5月CPIが予想を下回った事を受け、ユーロ売りが優勢となり、1.0680レベルでオープン。オープン直後に発表された独5月CPIも予想を下回ったが、先週の経済指標で同国がリセッションに陥ったとの見方が織り込まれてか影響は限定的。1.0705まで上昇する場面もあったが、その後米経済指標の結果を受け、安値の1.0635まで下落する。午後は1.06台後半まで反発し、1.0689レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・鈴木